

会 議 録 (概要)

会議の名称	令和5年度 第3回 佐渡市地域包括ケア会議
開催日時	令和6年3月7日(木) 14時00分開会 15時00分閉会
場 所	金井コミュニティセンター ホール
議 題	高齢者虐待対応について
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	一部非公開(佐渡市情報公開条例第7条第2号(個人に関する情報)の規定により)
出席者	<p>参加者 (公務員除く)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係団体 10名</li> <li>(公務員)</li> <li>・新潟県警察 佐渡警察署 生活安全課 課長 大島裕司</li> <li>・新潟県佐渡地域振興局健康福祉環境部地域主任 鈴木麻衣</li> <li>・佐渡市消防本部 予防課 課長補佐 中川清昭</li> <li>・佐渡市市民生活部 市民課 保険年金係 主任保健師 中川美和子</li> </ul> <p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・佐渡市総合福祉相談支援センター センター長 海老由紀</li> <li>・佐渡市社会福祉部 高齢福祉課 高齢福祉係 係長 柴原祥二</li> <li>・佐渡市社会福祉部 高齢福祉課 高齢福祉係 主事 飯山由貴</li> <li>・佐渡市社会福祉部 高齢福祉課 高齢福祉係 生活支援コーディネーター 津山春香</li> <li>・各地域包括支援センター 6名</li> </ul>
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料 No. 1 「第3回 佐渡市地域包括ケア会議について」</li> <li>・資料 No. 2 「佐渡市における高齢者虐待の現状について」</li> <li>・資料 No. 3 「高齢者虐待対応マニュアル」</li> <li>・資料 No. 4 「高齢者虐待防止について」</li> </ul>
傍聴人の数	0人
備考	

会議の概要（発言の要旨）	
発言者	議題・発言・結果等
高齢福祉係 主事	1. 開会
座長 A 氏	2. 議題『高齢者虐待対応について』 今回のテーマは、高齢者虐待対応について。事務局から概要の説明をお願いします。
高齢福祉係 主事	(1) 会議概要説明「第3回 佐渡市地域包括ケア会議について」 資料 No. 1 により説明。質疑なし。
総合相談支援センター センター長	(2) 状況報告「佐渡市における高齢者虐待対応の現状・取組について」 ① 佐渡市における高齢者虐待の現状 資料 No. 2 及びにより説明。質疑なし。 ② 虐待対応手順について 資料 No. 3 により説明。質疑なし。
東地域包括支援センター 係長	資料 No. 4 の 1～14 ページにより説明。質疑なし。
南地域包括支援センター 社会福祉士	③ 虐待対応事例の紹介 資料 No. 4 の 14 ページにより説明。質疑なし。
西地域包括支援センター 係長	資料 No. 4 の 15 ページにより説明。質疑なし。
総合相談支援センター センター長	資料 No. 4 の 16 ページにより説明。質疑なし。
座長 A 氏	<b>【質疑応答】</b> ○これらの事例を見ると、老々介護、8050 問題ですでに虐待の問題が出ていることが分かる。介護サービスが入っているところには虐待は出ていないか。
総合相談支援センター センター長	○場合にもよるが、介護サービスが入っていても虐待が起こるケースがある。虐待と判断されれば、サービスの見直しや新規導入を提案する。また、介護の知識を伝えて支援している。
	(3) 意見交換「高齢者虐待防止ネットワークの構築について」

<p>座長 A 氏</p>	<p><b>【佐渡歯科医師会】</b></p> <p>集落の状況が分かってくると、各家庭の家族構成や 8050 問題かなりあることが見えてくる。8050 の子ども世代は、まず地域で把握し、行政の担当課と把握の共有をすることが大事と思う。</p> <p>虐待は近所付き合いがあれば早期発見ができるので、自治会役員なり民生員が報告を上げるシステムを自治会で作るべきかと思う。</p>
<p>委員 B 氏</p>	<p><b>【佐渡薬剤師会】</b></p> <p>薬剤師業務には、薬局に来る方と対面し服薬指導をするものと、患者宅を訪問して指導をするものがある。</p> <p>対面の服薬指導業務に携わっていると、患者の状態がよくなれば話も弾むようになるので、そこで虐待に気づくこともあるかと思う。各薬局でも気づいたら対応するように話をしたい。</p> <p>訪問での服薬指導は難しいが、実施している薬局には早期発見のため家庭状況も確認するよう周知したい。</p>
<p>委員 C 氏</p>	<p><b>【新潟県リハビリテーション専門職協議会 佐渡支部】</b></p> <p>実施しているのは、退院前のリハビリ計画作成の支援と、患者の現在の身体機能や栄養評価の見学手配。カウンセラーが入っており、関係機関との連絡は任せている状態で、通報したことはない。</p>
<p>委員 D 氏</p>	<p><b>【新潟県看護協会 佐渡支部】</b></p> <p>虐待問題に関係があるのは訪問介護かと思うが、虐待防止法マニュアルに従い対応している。</p> <p>また、施設従事者による虐待については、精神障害者の虐待防止マニュアルや虐待防止法が 4 月から施行されるので各施設にも人権擁護の観点から浸透させていきたい。</p>
<p>委員 F 氏</p>	<p><b>【新潟県介護福祉士会】</b></p> <p>施設従事者に対しての虐待防止の研修は定められているので各施設は必ず実施している。来年 4 月から虐待防止推進のための改正があり、取り組みを実施しないと減算対象になるので、各事業所も積極的に推進して行くと思う。</p> <p>施設従事者の虐待については、虐待なのか事故なのか</p>

<p>委員 G 氏</p>	<p>線引きが難しいので、行政との連携と積極的な相談が早期発見のためには大切と思う。</p> <p><b>【新潟県弁護士会】</b></p> <p>高齢者虐待に弁護士が関わるのは、事後の非常に限られた範囲と思う。</p> <p>その中でも、早期に相談を受けたため早い段階で解決につながったケースもあるので、早めの連絡をお願いしたい。</p>
<p>委員 H 氏</p>	<p><b>【新潟県社会福祉士会】</b></p> <p>先日の会合で、地域力が低下しているという話が出た。</p> <p>元旦の地震の際にも、直後には行政は後手にしか動けないので、家庭内の状況を分かっている地域の関係が大切だと感じた。こういう関係が虐待の早期発見にもつながると思う。</p> <p>避難でも虐待早期発見でも、地域の力が大切と感じる。</p>
<p>委員 I 氏</p>	<p><b>【佐渡市社会福祉協議会】</b></p> <p>社協では、デイサービス事業・訪問介護事業・相談事業を実施している。</p> <p>また、区長等に依頼し、地域懇談会を開催して自行きの実情を聞いている。問題がある家庭があっても住民では声をかけにくい、そういうところに関われる専門職が訪問できる仕組みを作っている。</p> <p>身体的虐待で言うと、社協のデイサービスの利用者が朝からできていた痣を記録していなかったため、家族にデイで虐待された、と言われたことがある。記録がないため家族が納得せず、利用中止となった。記録の大切さを実感した。</p>
<p>委員 J 氏</p>	<p><b>【佐渡市在宅介護支援センター】</b></p> <p>虐待の早期発見には最も相応しいのが当センターかと思う。年 96 件の実態把握や月 12 回開催する介護予防教室の参加者から地域の家庭状況について情報が得られるが、現在まで包括に連絡した事例はない。</p> <p>やはり先に出た地域のつながりが最も大切と思うので、事業を継続していきたい。</p>

<p>佐渡警察署生活安全課 課長</p>	<p><b>【佐渡警察署】</b></p> <p>警察での高齢者虐待の認知は、家庭内トラブルからの通報や第三者からの情報提供がある。管内での令和5年の虐待認知件数は38件で、前年比8件増となっている。このうち約8割が身体的虐待で、この中には事件として扱ったものもあるが、さまざまな理由から被害者が避難できなかつたり、警察の関与を望まなかつたりするケースが多い。このような場合は包括に対応を依頼しており感謝申し上げる。</p> <p>警察の立場としては、対応後の発生を防止するという観点から関係機関に通報しており、今後ともお願いしたい。</p>
<p>佐渡地域振興局 地域保健課 主任</p>	<p><b>【佐渡地域振興局健康福祉環境部地域保健課】</b></p> <p>配布資料の取り組みの部分の修正のお願い。関係職種向けの高齢者虐待防止講演会の開催は一律ではなく地域の実態に合わせてという任意事業なので、削除する。研修会についても、これまで実施してきた研修会が現場で活かされているか検証しネット公開を考えているので、こちらも削除する。また、早期発見の部分で家族の様子が異なる場合→家族の様子が虐待が疑われる場合に訂正する。</p> <p>研修の機会を継続的に設けて検証していきたい。また、佐渡市と同様に一般市民への啓蒙も大事になってくると思う。地域づくりや見守り体制作りにもつながる。</p> <p>また、認知症についても正しく理解できるよう周知が必要と思った。</p>
<p>委員 K氏</p>	<p><b>【日本郵便 佐渡地区連絡会】</b></p> <p>当郵便局でも疑わしい方が来るときがある。郵便局も地域の実情を把握する一端を担っていると思うが、個人情報のあることもあり共有するのが難しい。局長クラスだけでも良いので、虐待が疑われるポイントや通報先についての講習会の開催依頼を検討したい。それを地域住民に伝えることができれば、道筋がつくのではないと思う。</p>
<p>佐渡市消防本部 予防課長補佐</p>	<p><b>【佐渡市消防本部 予防課】</b></p> <p>消防として関わるのは救急の現場と思うが、現在のところ通報はしたことがない。虐待または疑いの場合の通報先はマニュアルとして決められているが、報告を挙げた例はない。</p>

<p>佐渡市 市民生活部 市民課 保険年金係 主任保健師</p>	<p>今日、話を聞いて、救急の現場で虐待やその疑いに気が付くことができるかどうかは難しいと思った。どのようなポイントに気をつければよいのか、教えてもらえば現場で活かせると思う。</p> <p><b>【佐渡市市民生活部市民課保険年金係】</b></p> <p>本庁や支所の窓口で年金手続する際に気になるケースがあれば包括に連絡する流れはあると思う。</p> <p>資料の訂正をお願いする。「健康状態把握者」→「健康状態未把握者」に修正する。今年度から、市全域で健診未受診、病院未受診の方を対象に包括職員や保健師が訪問して健康状態を把握する取り組みを実施している。件数は少なく、お元気である方がほとんどだが、事情によりサービスにつながっていない方、つながれない方が出てくると思うので、次年度も継続する。その中で気になるケースは包括につないでいきたい。</p>
<p>座長 A 氏</p>	<p><b>【まとめ】</b></p> <p>認知症に対する理解が足りないと感じる。認知症は病気だという認識が広がれば、虐待につながることは少ないと思う。虐待にせよ 8050 問題にせよつながっている問題だと思うので、本日の内容を各団体に持ち帰っていただき、行政だけでは解決できない課題解決のために役立てていただきたい。</p> <p>(4) その他 質疑なし。</p>
<p>高齢福祉係 主事</p>	<p><b>3. その他</b></p> <p>地域包括ケア会議は次年度も年 3 回を予定している。第 1 回は夏ごろを予定しているが、決定後、案内を差し上げる予定。</p> <p>また、本日の会議録は出席者の承認を経て佐渡市ホームページ上で公開するので、お送りする会議録の確認をお願いしたい。</p>
<p>高齢福祉係 主事</p>	<p><b>4. 閉会</b></p>